

公益財団法人 仁科記念財団
平成 30 年度 事業報告書

仁科記念財団の公益目的事業は、定款第 4 条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において（1）きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行などの活動（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成である。

平成 30 年度は、以下の公益目的事業を行った。

1. 仁科記念賞

仁科記念賞は、広い意味での原子物理学およびその応用に関して顕著な業績をあげた比較的若い研究者に授けられる賞で、当財団創設の 1955 年以来、毎年数名の将来性豊かな研究者に授与されてきた。これまでの受賞者の総数は 188 名（今年度は柴田大氏、田中耕一郎氏の 2 名）となり、その中からは国内外で著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。たとえば、ノーベル物理学賞受賞者 6 名（江崎玲於奈氏：1959 年仁科記念賞受賞、小林誠氏、益川敏英氏：1979 年、小柴昌俊氏：1987 年、中村修二氏：1996 年、梶田隆章氏：1999 年）、文化勲章受章者・文化功労者 19 名、恩賜賞・日本学士院賞受賞者 32 名となっている。

仁科記念賞規程では、① 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、日本化学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は 3 件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 500 千円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で行うこととしている。

平成 30 年度第 64 回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。選考委員会（安藤恒也委員長他 13 名）は、今年度推薦のあった 15 件の候補について慎重に審議した結果、前掲の 2 件（2 名）に授与することとした。この結果は平成 30 年 10 月 26 日に開催された第 26 回理事会において承認され、11 月 9 日に日本アイソトープ協会会議室において新聞発表を行った。授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日（水）に如水会館（千代田区一ツ橋）にて執り行われた。また、授賞記事は、当財団ホームページに加えて、本年度より Association of Asia Pacific Physical Societies（AAPPS）の Bulletin にも公開されることとなった。

・受賞者：柴田 大（Max Planck Institute for Gravitational Physics, Director、京

都大学基礎物理学研究所 教授)

- ・業績題目：数値相対論による連星中性子星合体の研究
- ・受賞者：田中耕一郎（京都大学大学院理学研究科 教授）
- ・業績題目：固体におけるテラヘルツ極端非線形光学の開拓

2. 仁科記念講演会

仁科記念講演会は当財団創立以来の重要な事業で、社会に原子物理学の真髓を啓発するため、毎年一般の参加を得て開催されてきている。

今年度は、以下のように第64回定例仁科記念講演会が開催された。

第64回定例仁科記念講演会「アイソトープで探る宇宙」

日時：平成30年11月11日（日）17:10～19:10

場所：多摩六都科学館サイエンスエッグ

主催：仁科記念財団

後援：日本アイソトープ協会

（プログラム）

挨拶：小林 誠 仁科記念財団理事長

高柳雄一 多摩六都科学館館長

講演：「屋久杉に刻まれた過去の太陽活動」

三宅美沙（名古屋大学宇宙地球環境研究所 准教授）

講演：「南極の氷がひもとく宇宙と地球の歴史」

望月優子（理化学研究所仁科加速器科学研究センター 雪氷宇宙科学研究開発室長）

参加者：約120名

3. 仁科記念室

(1) 資料の提供

- ・日本物理学会誌 5月号「歴史の小径」の記事「誌上展示・理化学研究所の歩み 1917～48年」（国立科学博物館・有賀暢弼研究員著）で、戦前の仁科研究室が紹介された。
- ・5月8日、広島テレビが「日本帝国陸軍からの要請で仁科博士が行った原爆開発『二号研究』」に関して取材と仁科記念室他の撮影を行った。矢野常務理事は、二号研究は「動力源」の開発であったこと、また、日本の未来を担う部下の俊英たちを戦地に送らないための方便であったのではないかと説明した。
- ・5月22日、中国新聞の取材と仁科記念室の撮影があった。
- ・6月19日、雑誌「週刊金曜日」の取材と仁科記念室の撮影があった。

- ・ 8月15日、毎日新聞夕刊に仁科記念室の記事が掲載された。
- (2) 見学者
- ・ 4月18日の朝日新聞朝刊に、仁科博士が原爆投下直後の広島・長崎の被害状況を現地で書き留めた通称「仁科ノート」を基軸にした高橋源一郎氏の寄稿が掲載された。寄稿文では、作家の目で「二号研究とは一体何だったのか」が語られ、その中に、案内人の矢野常務理事が、日本の未来を担う部下の俊英たちを戦地に送らないための方便であったのではないかと想像するくだりがある。仁科記念室の写真が大きく掲載され、末尾には「記念室のある建物は再来年以降に取り壊される」と記述されている。
 - ・ 4月27日、国立科学博物館の若林文高研究部長と有賀暢迪研究員が仁科記念室を見学し、仁科記念室移転に関して意見を交換した。小サイクロトロン博物館への移設は床の耐荷重がないので不可能、また、展示室内に仁科記念室を復元することも財政上無理であろうとのことであった。ただし、映像展示は試みてみたいということで、物品の移設前に仁科記念室内部を撮影したいということであった。
 - ・ 6月5日、(社)日本倶楽部(1905年創設)の3名が仁科記念室を見学した。仁科博士は1945年10月18日に日本倶楽部で「原子爆弾について」という講演を行ったと記録にあるので、関連する写真や「仁科ノート」、原爆投下直後にトルーマン大統領が行ったラジオ放送を同盟通信が翻訳して仁科博士に届けた「敵性情報」のコピーを展示したいということであった。
 - ・ 8月1日、恒例の里庄中学生の仁科記念室見学会(第21回「仁科芳雄博士の足跡を訪ねて」主催:公益財団法人科学振興仁科財団、里庄町、里庄中学校)があった。見学者は中学3年生9名(女子7名男子2名)、引率の先生、仁科記念会館事務局長に加えて、加藤泰久町長であった。生徒たちはアイソトープ協会会議室で矢野常務理事と小林理事長の話を聴いたあと、矢野常務理事の案内で仁科記念室とサイクロトンモニュメントを見学した。
 - ・ 3月22日、小石川中等教育学校の中学3年生22名と引率の教諭2名が仁科記念室と小サイクロトンを見学した。この見学の前に、矢野常務理事が小石川中等教育学校で「仁科芳雄博士」の講演を行った。
- (3) 資料の整理
- ・ 第一次史料のpdfファイル化を進めた。
- (4) 仁科記念室および小サイクロトンモニュメントの移設について
- ・ 6月20日、里庄仁科会館の田主裕一朗事務局長から、仁科記念室を和光に移転する計画について会館として賛同する旨のメールを頂いた。

- ・6月29日、理研の船田孝司和光事業所長他仁科記念室移転担当事務の視察があり、今後の予定について意見交換をした。現在、移転予定物品が理研の資産になっているかどうか調査中とのこと。
- ・総合研究大学院大学の伊藤憲二准教授（科学史）が、財団打ち合わせ室のキャビネットの中に保管されていた「横山資料」と書かれた箱の中から仁科博士の大量の未公開書簡を発見した。
- ・9月18日、松本紘理研理事長が日本アイソトープ協会と仁科記念財団を訪問された。3者での挨拶に続いて、矢野常務理事から旧理研の歴史が紹介され、仁科記念室と小サイクロトロンのご案内があった。出席者は、財団から小林理事長、山崎敏光評議員会長、矢野常務理事、理研から松本理事長、古屋輝夫理事長室長他事務4名、協会から、山下孝専務理事、二ッ川章二、勝村庸介、市川英明常務理事、古川修専任理事他事務2名であった。
- ・11月9日、理研の石井康彦監事が仁科記念室を見学し、移転案等について意見交換した。
- ・11月29日、理研の船田孝司和光事業所長が仁科記念室を見学し、移転案等について意見交換した。
- ・1月25日、有馬朗人日本アイソトープ協会会長が仁科記念室を短時間訪問され、仁科博士の椅子に腰かけている写真を撮影させていただいた。

4. 研究関連等の出版

- ・2018年度版仁科記念財団案内（2018年6月）を刊行した。

5. 研究者の海外派遣・招聘

本財団は、若手研究者の海外派遣・招聘事業に替わる新たな支援事業として、平成24年度にアジアの若手研究者を鼓舞激励する Nishina Asia Award を創設した。

Nishina Asia Award は、アジアに研究基盤をおいて極めて優れた成果を挙げた日本以外のアジアの若手研究者（学位取得後15年以内）を毎年1名選考して、賞状と賞牌および賞金400千円を仁科記念賞授賞式の中で授与し、さらに授賞式の前後約2週間、わが国研究者との研究交流を助成するという事業で、これを研究者の海外派遣・招聘事業予算で実施する。選考は Nishina Asia Award 規程に則り当該選考委員会（江口 徹委員長他11名）で行い、選考結果は理事長の承認を得て9月初旬には受賞者に通知される。

第6回となる2018年 Nishina Asia Award の候補者募集要項を平成30年1月1日から3月31日の3ヶ月間、当財団ホームページに掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、14件（中国7件、韓国3件、インド1件、台湾1件、ベトナム1件、シンガポール1件）の推薦があった。選考委員会で慎重に選考した結果、台湾籍の Yu-Tin Huang 氏（Associate Professor, National Taiwan University）に ”for his

contributions to uncovering hidden symmetries and structures in S-matrix of gauge and gravity theories”の業績に対し授賞することとした。授賞記事は、本財団ホームページ、Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS) の Bulletin に公開された。Huang 氏は 12 月 6 日に仁科記念賞・仁科アジア賞授賞式に出席したほか、KEK、筑波大、立教大、京大で講演を行った。

第 7 回 2019 年 Nishina Asia Award は、平成 31 年 1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページに候補者募集要項を掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、15 件（中国 7 件、韓国 5 件、台湾 1 件、ベトナム 1 件、フィリピン 1 件）の推薦があった。

6. 賛助会員

平成 30 年度の賛助会員数は 8 法人（科研製薬株式会社、鹿島建設株式会社、キッコーマン株式会社、住友化学株式会社、住友重機械工業株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、公益財団法人本田財団）、3 個人。

7. 会議の開催

平成 30 年度に開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。開催場所はすべて日本アイソトープ協会会議室。

(1) 評議員会

1) 第 8 回（定時）

日時：平成 30 年 6 月 11 日 11：30～13：00

出席評議員：有本建男、佐藤勝彦、高橋真理子、伊達宗行、廣田榮治、
山崎敏光（会長）、吉田庄一郎

欠席評議員：川路紳路、郷通子、鈴木厚人、田畑米穂

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事（オブザーバー）

議事：①平成 29 年度事業報告書および決算書が原案通り承認された。②次期理事として秋光純、安藤恒也、家泰弘、小林誠、柴田徳思、鈴木増雄、永宮正治、仁科浩二郎、矢野安重、山田作衛理事を重任、藤川和男氏、勝村庸介氏を新任、また次期監事として、荒船次郎、江澤洋監事を重任とすることが承認された。③役員報酬規程の別表第 1 項を（旧）年 1,200 千円から（新）2,400 千円に改めることが承認された。尚、施行日は平成 31 年 4 月 1 日。

(2) 理事会

1) 第 25 回

日時：平成 29 年 5 月 18 日 17：30～18：00

出席理事：秋光純、安藤恒也、家泰弘、小林誠、鈴木増雄、永宮正治、矢野安重、山田作衛

欠席理事：柴田徳思、仁科浩二郎

出席監事：荒船次郎、江澤洋

議事：①平成 29 年度事業報告書および決算書（案）が承認され、第 8 回定時評議員会に諮ることとした。②新理事候補の理事会案が承認され、第 8 回定時評議員会に諮ることとなった。③役員報酬規程の別表第 1 項を（旧）年 1,200 千円から（新）2,400 千円に改める案を第 8 回定時評議員会に提案したい旨提案があり承認された。尚、評議員会の議事録には施行日は平成 31 年 4 月 1 日とする旨、明記していただくこととした。④第 8 回定時評議員会を平成 30 年 6 月 11 日 11:30 より公益社団法人日本アイソトープ協会第 3 会議室にて開催することが承認された。議案は、1) 平成 29 年度事業報告書および決算書の承認、2) 新理事補充案の承認。3) 役員報酬規程改定案の承認。

2) 第 26 回

日時：平成 30 年 10 月 26 日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、勝村庸介、小林誠、鈴木増雄、永宮正治、藤川和男、矢野安重、山田作衛

欠席理事：秋光純、柴田徳思、仁科浩二郎

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席選考委員長：安藤恒也

報告：小林理事長、鈴木常務理事、矢野常務理事、山田常務理事より、本年度上半期の業務執行状況報告があった。

議事：①安藤恒也仁科記念賞選考委員長より「平成 30 年度は 15 件の応募があり、慎重に審議した結果、①柴田 大 氏 (52 歳) Max Planck Institute for Gravitational Physics, Director、京都大学基礎物理学研究所教授：数値相対論による連星中性子星合体の研究、②田中耕一郎 氏 (55 歳) 京都大学大学院理学研究科教授：固体におけるテラヘルツ極端非線形光学の開拓、の 2 件を授賞者として」旨報告があり、審議の結果、全出席理事異議なく、本財団仁科記念賞規程第 6 条第 2 項に従い、選考委員会提案通り平成 30 度仁科記念賞授賞者を決定した。

3) 第 27 回

日時：平成 31 年 3 月 20 日 17:30~18:30

出席理事：家泰弘、勝村庸介、小林誠、鈴木増雄、永宮正治、藤川和男、矢野安重、山田作衛

欠席理事：秋光純、安藤恒也、柴田徳思、仁科浩二郎

出席監事：荒船次郎、江澤洋

報告：小林理事長、鈴木常務理事、矢野常務理事、山田常務理事より、本年度下半

期の業務執行状況報告があった。

議事：①2019年度事業計画書および収支予算書案を承認した。②2019年度事業計画を遂行するにあたり、特定資産を680万円取り崩すことを承認した。③2019年4月1日から2021年3月末日までの次期仁科アジア賞選考委員として、佐々木節東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構国際高等研究所特任教授を新選考委員長（江口委員長の後任）とし、6名の現委員を重任、5名の委員を新たに選任する案が承認された。

(3) 仁科記念賞選考委員会

1) 第1回

日時：平成30年9月27日 17:00～21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重常務理事

2) 第2回

日時：平成30年10月19日 17:00～21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重常務理事

議題；①平成30年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

(4) Nishina Asia Award 選考委員会

1) 第1回

日時：平成30年5月30日 17:00～20:00

出席委員：江口徹委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重常務理事

2) 第2回

日時：平成30年7月18日 17:00～20:00

出席委員：江口徹委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重常務理事

議題；①第6回2018年Nishina Asia Award 受賞者の選考委員会案を決定した。

(5) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第1回

日時：平成30年4月25日 17:30～19:30

出席委員：江口徹、勝村庸介、須藤靖、早野龍五、藤川和男

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛常務理事、家泰弘、柴田徳思、永宮正治

出席監事：荒船次郎

評議員会：山崎敏光会長

議題：①平成 29 年度事業報告書（案）および収支決算書（案）について②2018 年度仁科記念講演会のテーマについて③「仁科ノート」「極秘情報」等の HP 公開について④仁科記念室の移転計画について⑤来年度の評議員、役員、会計監査人の改選について

2) 第 2 回

日時：平成 30 年 5 月 18 日 18：30～19：30

出席委員：勝村庸介、十倉好紀、初田哲男、早野龍五、藤川和男

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛常務理事、秋光純、安藤恒也、家泰弘、永宮正治

出席監事：荒船次郎

評議員会：山崎敏光会長

議題：①2018 年度仁科記念講演会のテーマについて。

3) 第 3 回

日時：平成 30 年 6 月 27 日 17：30～19：30

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛常務理事、家泰弘、勝村庸介、永宮正治、藤川和男

出席監事：荒船次郎、江澤洋

議題：①2018 年度仁科記念講演会の開催準備状況について②仁科記念賞候補推薦者の追加について③仁科記念室移転計画の進捗状況について

4) 第 4 回

日時：平成 30 年 7 月 17 日 17：30～18：00

出席委員：江口徹、須藤靖

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛常務理事、秋光純、安藤恒也、勝村庸介、永宮正治

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席評議員：山崎敏光会長

出席客員運営諮問委員：池田長生、西村純

議題：①2018 年度仁科記念講演会の開催準備状況について②「横山資料」の公開について③「案内」の改訂について

5) 第 5 回

日時：平成 30 年 9 月 25 日 17：30～18：30

出席委員：梶田隆章委員長、早野龍五

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛常務理事、秋光純、家泰弘、勝村庸介、永宮正治

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席評議員：山崎敏光会長

議題：①仁科記念室の移転について

6) 第6回

日時：平成30年10月26日 18:00～19:30

出席委員：梶田隆章委員長、伊藤公孝、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛常務理事、安藤恒也、家泰弘、勝村庸介、永宮正治、藤川和男

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席評議員：山崎敏光会長

議題：2019年度からの第3期新体制について

7) 第7回

日時：平成30年11月14日 17:30～19:30

出席委員：須藤靖

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛常務理事、安藤恒也、勝村庸介

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席評議員：山崎敏光会長

議題：①仁科記念賞授賞記事英語版の確認と今後の国際的認知拡大の方策について
②NAA 候補推薦依頼者の拡大について③「仁科記念室」移転の進捗状況について④「仁科倶楽部」見学について

8) 第8回

日時：平成31年1月9日 17:30～18:30

出席委員：梶田隆章委員長、須藤靖、早野龍五

出席理事：小林誠理事長、矢野安重、山田作衛常務理事、安藤恒也、家泰弘、勝村庸介、藤川和男

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席評議員：山崎敏光会長

議題：特になし。

9) 第9回

日時：平成31年2月26日 17:30～19:30

出席委員：梶田隆章委員長、須藤靖、十倉好紀、早野龍五

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重常務理事、秋光純、家泰弘、藤川和男

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席評議員：山崎敏光会長

議題：仁科記念室移転案について

10) 第10回

日時：平成31年3月20日 18:30～19:30

出席委員：早野龍五

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重常務理事、家泰弘、勝村庸介、永宮
正治、藤川和男

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席評議員：山崎敏光会長

議題：①次期評議員、役員、運営諮問委員について②2019年定例仁科講演会の大
テーマについて